

## みえ高校生県議会 質問と答弁の概要 (令和6年8月21日)

学校名 質問項目	質問の概要	答弁の概要	答弁者
紀南高等学校  『「My まっぷラン+ (プラス)」の活用状況と普及のための対策、及び避難の際の課題に対する対応について』	<p>2年前のみえ高校生県議会で常任委員長から紹介された「My まっぷラン+ (プラス)」をもとに学校の津波避難計画を見直した結果、県道を横断する避難ルート上に横断歩道がなかったり、避難場所が使用できなかった場合の2次避難場所の想定がなかったりするなど、多くの課題が見つかった。このように、避難の際の課題を見つけることができる、すばらしい取組である「My まっぷラン+」の取組を他の多くの地域でも行って欲しいと考える。<u>現在の県内における「My まっぷラン+」の活用状況と、普及のための対策をどのように行っているのか。</u></p> <p>本校で津波から避難するには必ず県道を横断しなければならないが、最短の避難ルートには横断歩道がない。避難訓練の際には迂回しなければならないが、現実的な避難訓練ができない。県内の他の地域でも、「My まっぷラン+」などを活用して、避難計画を策定したり、見直しを行ったりした結果、<u>避難の際の課題が見つかった場合に、安全・安心な避難を実現するため、県としてはどのような対応を行っていくつもりか。</u></p>	<p>令和2年度には、津波に加え、洪水や土砂災害などの風水害にも対応し、デジタルマップ上で避難経路の作成ができる「My まっぷラン+」を開発し、それを用いた計画策定を支援しており、これまでに12市町70地区で避難計画が作成された。また、「My まっぷラン+」をより多くの方に知っていただくために、大型商業施設で行う防災啓発イベントにおいて各地区の事例を紹介しているほか、地域の依頼に応じて県の防災技術指導員を派遣し、住民の皆さんに活用方法を説明するなどの取組を行っている。</p> <p>紀南高等学校の皆さんが、「My まっぷラン+」をもとに話し合い、津波避難計画の見直しを行った際の気づきが地域の皆さんにも共有され、実際の避難に繋がることが何より重要である。皆さんの気づきや地域の課題については、防災対策部をはじめとする執行部と共有し、一緒になって対策を考えていくので、これからも積極的に県議会へ届けてほしい。大規模災害に即時に対応できるよう、また県民の防災意識を高め、地域の防災力が向上するよう、県議会としてもしっかりと調査、審議を進めていく。</p>	防災県土整備企業常任委員長